

12月1日最新型電気手術器「Valleylab FT10 エネルギープラットフォーム」

を手術室全室（6室）に導入しました。

当院では、外科をはじめとする多様な手術の際に使われる高周波切開凝固装置にエネルギーを供給する最新型の電気手術器「Valleylab FT10 エネルギープラットフォーム」を12月1日に手術室全室（6室）に導入しました。

本装置はあらゆるモードを搭載した電気メスとベッセルシーリングシステム（組織融合による血管をシールするシステム）機能を有しています。

手術においては、出血量を抑えることが重要ですが、従来の止血法は手術用縫合糸や金属製のクリップにより行っていましたが、このシステムにより、手術時間の短縮や異物を体内に残さずに止血することが可能な器械です。

